

【始業式での話】

さあ、今日から新しい学年が始まります。

今日は、新しい先生方や新しいお友達と出会い、ドキドキ、わくわくしていることと思います。

今年は、北部小学校ができて58年目になります。

今日は、その『第一步』です。私も、とてもわくわくしています。

それでは、それぞれの学年に今年1年間の中でがんばってほしいと思っていることをお話するので、話をよく聞いてください。

まずは、「6年生のみなさん」

私は、「学校の歴史と伝統は、6年生がつくる」と思っています。6年生がしっかりしている学校は、とても良い学校になります。最上級生として、北部小学校の『顔』としてがんばってください。

次は、「5年生のみなさん」

いよいよ高学年の仲間入りです。6年生ががんばっている後ろ姿をお手本に、6年生と一緒に力を合わせて、北部小学校を引っ張って行ってほしいと思います。そして、下級生が、『あこがれる上級生』になってください。

「4年生のみなさん」

クラブ活動など、今までになかった新しいことが色々と始まります。

持ち前の元気を十分に発揮して、大いに活躍してください。楽しみにしています。

「3年生のみなさん」

真ん中の学年になりました。

これからは、1・2年生のお手本になる学年です。よろしくお願いします。

「2年生のみなさん」

1年前に入学した頃と比べると、すっかりお兄さん、お姉さんになりました。

今度入学してくる1年生に、色々なことを優しく教えてあげてください。

さて、ここで、私からみなさんに、もう一つお願いがあります。それは、「相手のことを認めてあげてほしい」ということです。

学校生活を送っていると、楽しいこともあると思いますが、嫌なこともあることでしょう。自分が考えていることと違ったことをするお友達がいるかもしれません。

みなさんは、その様なとき、どうしますか？「あの子は嫌い！」とその子とはもう遊ばないようにしますか？または、相手が分かってくれるまで、強く言ったり、責めたりしますか？

嫌なことがあると、その人と離れたくなるという気持ちは分からないでもありません。しかし、もしそうなったときに、みなさんに、ぜひ、してほしいことや、がんばってほしいと欲していることがあります。

それは、「そういう考え方をしたり、そのような気持ちになったりすることもあるのか・・・」と、相手の考えや気持ちを認めてあげてほしいのです。そのためには、「嫌だな～」と思うことがあった時、すぐに何かを言ったりやったりするのではなく、少しの時間をとって、相手がどうしてその様なことをしたのかを考えてみてください。

みなさんもそうだと思いますが、人には誰でも得意なことや苦手なことがあります。走るのが速い人、縄跳びが上手な人、野球がうまい人、サッカーがうまい人、など、様々です。それ以外にも、お友達を大切に人、係の仕事や責任を持ってやる人、困っている人を助けてあげる心の優しい人などもいるでしょう。

みなさんも必ず、何か良い面を持っています。逆に、直した方がよい面も持っていると思います。ですから、相手の悪い所ばかりを見るのではなく、良い面をたくさん見つけて、自分にはないその人の良い面を認め、そしてそれらを真似して、さらに素晴らしい人になってください。そして、毎日、お友達と仲良く、元気に、お勉強や運動をがんばり、たくさんの方のことを学んでいってください。

そのような子供がたくさんいたら、とても素晴らしい学校になると思っています。